

広報

心の通う福祉のまちづくり



社会福祉協議会だより

さつま町のふくし

No.41 社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会 平成29年5月発行

発行・編集 さつま町宮之城屋地2117-1(宮之城ひまわり館内) TEL 0996-52-1123 FAX 0996-52-1148



第12回さつま町民大会での社会福祉事業功労者表彰のようす

目次

- 表紙…… (写真) 第12回さつま町民大会での社会福祉事業功労者表彰のようす
- 2P ……・社会福祉事業功労者表彰者一覧、理事会・評議員会の報告、職員の異動について
- 3P ……・平成29年度さつま町社会福祉協議会事業一覧
- 4P ……・平成29年度さつま町社会福祉協議会事業一覧
- 5P ……・平成29年度さつま町社会福祉協議会事業一覧
- 6P ……・平成29年度さつま町社会福祉協議会事業予算
- 7P ……・ボランティア連絡会について、ボランティア募集、ボランティア活動保険広告
- 8P ……・高齢者ふれあい・いきいきサロンについて、ご近所福祉だより
- 9P ……・香典返し、篤志寄付、備品借用の紹介
- 10P ……・エコキャップ寄贈の紹介、編集後記

【社会福祉事業功労者表彰者一覧】

2月19日（日）に開催された、第12回さつま町民大会で、社会福祉事業功労者としての表彰が行われました。

表彰者の方々は次のとおりです。

（敬称略・順不同）

春田 祐子 （宮之城屋地・9年）	（地区・従事年数）
永田 まり （宮之城屋地・9年）	
大平 ヒロ子 （虎居・9年）	
中野 幸男 （虎居・9年）	
中間 實 （時吉・9年）	
杉水流 安美 （柏原・9年）	
下大迫 紀子 （求名・9年）	
蔵野 紀子 （求名・9年）	
今東 晴夫 （求名・9年）	
川宿田 益夫 （永野・9年）	
・・・○民生委員・児童委員として、永年にわたり地域福祉の向上に貢献されている。	

三好 百合子（祁答院町・15年）

白石 照予（中津川・16年）

・・・○特別養護老人ホームさつま園の職員として、永年にわたり高齢者福祉の向上に貢献されている。

小川 まゆみ（宮之城屋地・15年）

・・・○特別養護老人ホームアルテンハイム鶴宮園の職員として、永年にわたり高齢者福祉の向上に貢献されている。

【理事会・評議員会の報告】

平成29年3月22日（水）

第4回理事会が開催され、平成28年度補正予算を始め、平成29年度事業計画（案）、平成29年度収支予算（案）等について、原案通り議決されました。

平成29年3月29日（水）

第3回評議員会が開催され、平成28年度補正予算を始め、平成29年度事業計画（案）、平成29年度収支予算（案）等について、原案通り議決されました。

【職員の人事異動】

【退職】（3月31日付）

居宅介護支援事業所管理者

野元 光香

老人福祉センターいぬまき荘

事務職員 吉留 順子

地域包括支援センター

センター長 川原 芳子

（町からの派遣）

介護支援専門員

谷口 久子

福祉用具貸与事業所

福祉用具専門相談員

領家 信行

訪問介護事業所

訪問介護員 濱田 利子

【異動】（4月1日付）

居宅介護支援事業所

管理者 大塚 浩二

老人福祉センターいぬまき荘

事務職員 西之園 まさよ

地域包括支援センター

センター長 下口 和郎

介護支援専門員 麥田 奈月美

さつまくらし・しごと

サポートセンター

センター長兼主任相談支援員

原田 たか江

相談支援員兼就労支援員

兼就労準備支援員

兼家計相談員兼学習支援員

横山 由香

【町からの派遣】

地域包括支援センター

副センター長 鶴森 久美

主査 栗野 洋行

平成29年度 社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会 事業一覧

事業名	対象者	内 容	備 考
1 地域福祉事業			
① 支え合いネットワーク互助事業	高齢者や支援が必要な方	地域生活応援員を派遣し、日常生活でのちょっとした困りごとを支援する。(30分、自己負担300円、現金制)	公民会単位
② 地域見守りネットワーク支援事業	高齢者等	地域ぐるみで協力して、支え合いマップ等を作成し、隣近所が声をかけあい、見守っていくしくみづくりを行う。	
③ 地区社会福祉協議会活動支援	地区社協	20地区に社会福祉協議会を設置し、地域住民の自主的・主体的福祉活動を推進する。	
④ 自治会・民児協・福祉関係団体等との連携強化	関係団体	関係機関との連携強化を行う。	
⑤ 地域福祉団体の育成・支援	地域福祉団体	地域福祉団体の育成・支援を行う。	
⑥ 宮之城ひまわり館の管理・運営	地域住民	宮之城ひまわり館の管理運営を行う。	町指定管理
⑦ 生活福祉資金貸付事業	低所得者 高齢者 障害者世帯等	生活困窮世帯に対し、各種の資金を貸し付けることにより世帯の更生を支援する。	県社協委託
⑧ 法外援護資金貸付事業	低所得者 高齢者 障害者世帯等	生活困窮世帯に対し、各種の資金を貸し付けることにより世帯の更生を支援する。	5万円以内 無利子 償還期限1年
⑨ 生活困窮者自立支援事業	地域住民	さつまくらし・しごとサポートセンターを開設し、就業の確保や、家計、子どもの学習支援等について、相談・支援を行う。	県委託
2 高齢者福祉事業			
① 高齢者ふれあい・いきいきサロン事業の推進	高齢者等	お互いの安否確認と元気づけ・仲間づくりで、寝たきり・認知症予防等を行う。22箇所は介護保険総合事業ミニディ型サロンへ移行。	公民会単位 月1回程度 85箇所 町委託
② 福祉給食サービス事業	高齢者等	ひとり暮らしや、虚弱な高齢者等に食事を配食し、健康維持と安否確認、声かけを行う。年間64,000食予定。	毎日(昼、夜) 1食500円 (自己負担)
③ 老人福祉センターいぬまき荘の管理運営	地域住民	高齢者やふれあい・いきいきサロン等の利用啓発に努め、園芸教室、健康教室を月1回実施し、隣接する郷土文化伝習館及びふれあい広場の管理・運営、利用促進を行う。	町指定管理
④ 敬老事業の推進	高齢者等	地区社協主催の敬老会への支援と、90歳到達者への記念品贈呈を行う。	
⑤ ライフサポートアドバイザー事業	東谷団地	緊急通報システムを整備してある10世帯の安否確認、緊急対応、相談等を行う。	
⑥ 高齢者クラブ連合会活動の推進	高齢者等	高齢者クラブ連合会事務の一部委託を受け、活動への支援を行う。	
⑦ 地域包括支援センター	高齢者等	高齢者等の相談対応や、介護予防支援事業、認知症施策等を行う。	町委託

事業名	対象者	内 容	備 考
3 障害者（児）福祉事業			
① 相談支援事業	障がい者等	相談支援専門員を配置し、障がい者（児）の方々の相談・支援を行う。	町委託
② 特定相談支援事業	障がい者等	相談支援専門員を配置し、障がい者の方々のサービス等利用計画を作成し、相談・支援を行う。	
③ 障がい者（児）団体の育成・支援	障がい者等	障がい者（児）団体の育成・支援を行う。	
④ 居宅介護事業	障がい者等	障がい者の方々に訪問介護員を派遣し、身体介護や家事援助を行う。	
⑤ 移動支援事業	障がい児等	屋外での移動が困難な障がい者等について、外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加を促す。	町委託
⑥ 障害者訪問入浴サービス事業	身体障がい者等	障がい者の方々を対象に、移動入浴車を利用し、自宅にて入浴介助を行う。	町委託
4 児童福祉・母子寡婦福祉活動			
① 福祉教育の推進	児童・生徒	福祉教育の推進と支援を行う。	
② 総合的学習の時間への協力	児童・生徒	町内各学校へ職員を派遣し、福祉関係の講話等を行う。	
③ 母子寡婦福祉団体の育成・支援	母子寡婦団体	母子寡婦福祉団体の育成・支援を行う。	
5 ボランティアセンター活動事業			
① ボランティアセンター機能の充実	地域住民	ボランティアセンター機能の充実を図る。	町補助
② ボランティアコーディネーター活動の充実	地域住民	ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア活動等の相談に応じる。	
③ 個人・団体ボランティアの育成、支援	地域住民	個人ボランティア・団体ボランティアの育成、支援を行う。	
④ ボランティア連絡会	地域住民	意見交換並びに交流研修会を行う。	年 1 回開催
⑤ ボランティア協力校指定・支援	町内保育園・幼稚園・小中高校	ボランティア協力校として指定し、ボランティア精神等、福祉教育の充実を図る。	
⑥ ボランティア養成講座	地域住民	町民へのボランティアの普及・啓発を図り、同時に、地域でのボランティア活動のリーダーを養成する。	
⑦ 中高生福祉ボランティア体験学習	中・高校生	学生が、夏休みを利用し、町内の福祉施設で福祉ボランティアの体験学習を行い、福祉に対する精神を養う。	年 1 回開催
⑧ ボランティアコーナーの設置	地域住民	ひまわり館内に設置し、ボランティア情報発信等の支援を行う。	
⑨ ボランティアセンターだよりの発行	地域住民	社会福祉協議会の広報誌で、ボランティアについての周知を行う。	年 4 回発行
⑩ 地域住民等ボランティア体験事業	地域住民	地域住民が福祉施設での介護ボランティア体験、講座を通して、福祉施設への理解や介護職への理解を深める。	県社協補助

事業名	対象者	内 容	備 考
6 心配ごと相談			
① 心配ごと相談所	地域住民	様々な心配ごととの相談に応じる。	毎週木曜日 (午前10時～正午) 町委託
② 無料法律相談	地域住民	毎月1回、弁護士による無料法律相談を開催する。(4月20日、5月18日、6月15日、7月20日、8月17日、9月21日、10月19日、11月16日、12月21日、1月18日、2月15日、3月15日)	ひまわり館 毎月第3木曜日 予約制
7 福祉サービス利用支援事業	認知症高齢者 知的障がい者 精神障がい者 等	生活支援員により、判断能力が不十分な方の、福祉サービス利用の代行や、公共料金などの支払い手続き、重要な書類の保管などの支援を行う。	1回1,200円 生活保護世帯は無料 県社協委託
8 介護保険事業			
① 居宅介護支援事業	要介護認定者等	介護支援専門員による居宅介護サービスの計画書の作成、管理を行う。	
② 訪問介護サービス事業	要介護認定者等	訪問介護員を派遣し、身体及び家事等の生活援助を行う。	
③ 訪問入浴介護サービス事業	要介護認定者等	移動入浴車を利用し、自宅での入浴の介助を行う。	
④ 福祉用具貸与事業	要介護認定者等	ベッド、電動車いす等の福祉用具のレンタルを行う。	
9 福祉タクシー事業	要介護高齢者 身体障がい者 等	予約制により、対象者の医療機関等への送迎を行う。(福祉輸送限定)	公益事業 有料
10 収益事業			
① 在宅介護用品販売事業	地域住民	紙おむつ等の介護用品の販売等を行う。	収益事業
11 その他			
① 共同募金事業への協力	地域住民	90歳到達者記念品贈呈、無料法律相談、地区社会福祉協議会活動助成、支え合いマップづくり、社会福祉大会(町民大会)等の事業を行う。	募金運動期間 (10月～ 共同募金運動) (12月～歳末 助け合い運動)
② 日本赤十字社事業への協力	地域住民	日赤鹿児島県支部さつま町分区としての会費募集や、災害救援等の赤十字事業を行う。	会費募集期間 (5月)
③ 苦情解決に関する第三者委員会の開催	サービス利用者等	第三者委員を3名おき、福祉サービスについての利用者からの相談、苦情解決するための施策を講じる。	
④ 飲料水自動販売機設置	地域住民	町内の公共施設等に自動販売機を設置している。	
⑤ 車いす貸出し	地域住民	外出等、車いすが必要な方に無料で車いすを貸し出す。	おおむね 1ヶ月以内
⑥ 広報誌の発行	地域住民	広報紙「社会福祉協議会だより」の発行を行う。(全戸配布)	年4回
⑦ 北薩地区社会福祉協議会連絡協議会	地域住民	災害時相互応援協定により、災害時の復旧活動の支援を相互に行う。	

平成29年度 社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会 収支予算書 (単位：千円)

勘定科目（大区分）		合 計	社会福祉事業	公益事業	収益事業
収 入	会費収入	4,800	4,800	0	0
	寄付金収入	3,700	3,700	0	0
	経常経費補助金収入	36,138	36,138	0	0
	助成金収入	0	0	0	0
	受託金収入	108,621	48,687	59,934	0
	貸付事業収入	1,300	1,300	0	0
	事業収入	5,870	3,130	1,500	1,240
	負担金収入	34,200	34,200	0	0
	介護保険事業収入	88,580	68,400	20,180	0
	障害福祉サービス等事業収入	6,794	6,794	0	0
	受取利息配当金収入	54	51	2	1
	その他の収入	676	670	6	0
	事業活動収入計	290,733	207,870	81,622	1,241
	施設整備等活動収入計	0	0	0	0
	積立資産取崩収入	600	600	0	0
	事業区分間繰入金収入	680	350	330	0
	サービス区分間繰入金収入	377	377	0	0
	その他の活動による収入	0	0	0	0
	その他の活動収入計	1,657	1,327	330	0
	前期末支払資金残高	32,599	32,256	343	0
収 入 合 計		324,989	241,453	82,295	1,241
支 出	人件費支出	195,158	144,793	50,365	0
	事業費支出	36,566	28,793	6,922	851
	事務費支出	58,923	35,524	23,359	40
	貸付事業等支出	1,301	1,301	0	0
	共同募金配分金事業費	3,253	3,253	0	0
	助成金支出	3,636	3,636	0	0
	事業活動支出計	298,837	217,300	80,646	891
	施設整備等活動支出計	0	0	0	0
	積立資産支出	1,100	850	250	0
	事業区分間繰入金支出	680	330	0	350
	サービス区分間繰入金支出	377	377	0	0
	その他の活動による支出	6,504	5,105	1,399	0
	その他の活動支出計	8,661	6,662	1,649	350
	予備費支出	1,000	1,000	0	0
	当期末支払資金残高	16,491	16,491	0	0
支 出 合 計		324,989	241,453	82,295	1,241



平成29年3月3日、平成28年度さつま町ボランティア連絡会を開催しました。会では、団体ボランティア登録申請及びボランティア保険、ボランティアセンターについて説明を行いました。さつま町社会福祉協議会では、今後も無理なく楽しくボランティア活動をしていただき、地域の支え合い及び地域の交流が盛んな町になりますよう、ボランティア活動の支援及び広報等を行っていきます。

平成28年度さつま町
ボランティア連絡会

ボランティア随時募集



■お問い合わせ先
社会福祉法人
さつま町社会福祉協議会
(さつま町ボランティアセンター)
電話…52-1123
FAX…52-1148

・さつま町社会福祉協議会では、団体ボランティア及び個人ボランティアの登録申請を行っていただきます。

・ボランティア活動中のケガや事故に備えたボランティア保険の加入申込みができます。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成29年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
	天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

(引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

高齢者ふれあい・いきいきサロン

2月6日に高齢者ふれあい・いきいきサロン代表者連絡会を開催いたしました。平成29年度より、現行型サロンと総合事業（ミニデイ）型サロンの2種類に分かれて活動がなされることになりました。現行型サロンにつきましては今まで通りの内容で、大きな変更はありません。



ご自分の地域のふれあいサロンに興味があるという方がいらつしやいましたら、是非参加してみてくださいね。

平成29年度も各地のサロンへ
おじゃましてくださーい♪



年度の締め
閉講式で乾杯！！

サロンで
マップづくり！
(出前講座)



ころばん体操で
体を温めて...



平成28年度は支え合いマップの取り組みが新規4公民会、見直しが9公民会、説明会が2校区で行われました。



高齢者の見守りだけでなく、障がいのある方への支援や子育て支援、空き家対策などにも目を向けて、みんながずっと暮らし続けていきたいと思える地域づくりについて一緒に考えることが、支え合いマップづくりの醍醐味です。

平成29年度も、さつま町社会福祉協議会は支え合いマップづくりの支援を行っていきます。

いつでもご連絡ください。

皆様の善意に
感謝申し上げます

社会福祉協議会では、皆様方より頂きました寄付を、地域福祉の向上のために活用させていただいております。

平成29年1月1日
平成29年3月31日受付分

香典返し寄付

100万8千円 95件

寄付者名(故人名)《敬称略》

(町内は大字、町外は住所)

霜田 良一(故 霜田キヨ子) 神奈川県
外園 光治(故 外園チヅ子) 神子
迫 カワ(故 迫 次雄) 鶴田
池之野 光徳(故 池之野テル) 佐志
関 嘉一(故 関 福子) 山崎
羽有 住子(故 羽有太志郎) 求名
池山 福夫(故 池山ヲワイ) 永野
下別府 明伸(故 下別府トシ子) 虎居
熊田 義弘(故 熊田 キリ) 求名
宮後 喜八(故 宮後ハスミ) 求名
榎園 順子(故 榎園 寛紀) 虎居
幾留 ミヤ子(故 幾留 健三) 二渡
小園 利幸(故 小園ノブ子) 虎居
江藤 繁隆(故 江藤 チヲ) 中津川
有馬 正明(故 有馬 ハル) 佐志
山下 准平(故 山下ノブ子) 宮城屋地
小田 ヨシ子(故 本田 初男) 虎居
宮之脇 チリ(故 宮之脇徹美) 紫尾

朝倉 貢(故 朝倉 計介) 時吉
今村 光弘(故 今村 彰利) 佐志
濱田 ハツ(故 濱田 盛行) 柊野
池之野 ゆきみ(故 池之野スミ子) 佐志
松尾 徹(故 松尾セツ子) 鶴田
岸良 哲弥(故 岸良ヒサ子) 時吉
上山 サチエ(故 上山 虎雄) 船木
熊田 新吉(故 熊田ナミ子) 求名
久保 ヤヅ子(故 久保 晃) 二渡
徳田 礼喜(故 徳田 耕治) 虎居
是枝 まゆみ(故 北野 要子) 宮城屋地
原園 美穂子(故 下大迫イ子) 船木
市成 守(故 市成 テイ) 鶴田
室屋 清美(故 室屋 チカ) 鹿児島市
白男 川 茂(故 白男川喜代子) 時吉
市未 佐津子(故 市未 洋昭) 宮城屋地
祝迫 清(故 祝迫 生佐) 二渡
才口 隆司(故 才口 房芳) 永野
谷下 節枝(故 谷下 榮吉) 神子
平山 ツキエ(故 平山 隆司) 永野
寶満 博文(故 寶満 芳子) 久富木
玉利 和子(故 玉利 哲信) 鶴田
四位 繁男(故 四位 昌敏) 湯田
中村 堅(故 中村 タキ) 柏原
登尾 光広(故 登尾 ツヤ) 平川
藤原 範幸(故 藤原アイ子) 宮城屋地
小田 いち子(故 小田 廣次) 虎居
岩切 貴代子(故 岩切ミサ子) 求名
下野 トシ子(故 下野 清一) 白男川
木下 敬子(故 木下 雅博) 永野
米盛 公治(故 米盛フミ子) 中津川
井上 美和(故 井上 雄二) 柏原
祝迫 邦榮(故 祝迫 ヨリ) 二渡
栗屋 野 靖(故 栗屋野ミツ子) 佐志
久留 正成(故 久留はま子) 鹿児島市
藤田 新一(故 藤田 長代) 柏原

鮫島 誠(故 鮫島 ミス) 二渡
中野 和子(故 中野 榮江) 白男川
谷山 孝憲(故 谷山テル子) 紫尾
吉留 堅美(故 吉留恵美子) 柏原
福田 勇二(故 福田マツ子) 神子
小松園 辰生(故 小松園エミ子) 佐志
山内 康信(故 山内 久義) 船木
宇都 助博(故 宇都 榮野) 久富木
上 芳明(故 上 睦子) 求名
東 博美(故 東 清博) 鹿児島市
餅田 寿恵(故 餅田 晋作) 求名
栗山 雪生(故 栗山千恵子) 白男川
神園 誠子(故 神園 道雄) 虎居
舟倉 洋子(故 舟倉ヨツ子) 宮城屋地
米丸 守文(故 米丸 文子) 北九州市
松崎 照夫(故 松崎 岩戸) 船木
小西 直美(故 小西 比知屋順子) 船木
瀬上 奉之(故 瀬上 郁子) 柏原
山口 憲視(故 山口 ミコ) 虎居
山口 昭幸(故 山口 トシ子) 中津川
野元 秀一(故 野元トシ子) 鶴田
田上 たす子(故 市来マス子) 宮城屋地
森山 仁(故 森山 郁子) 永野
岸良 成也(故 岸良 五子) 湯田
山田 元彦(故 山田 淑子) 宮城屋地
佐多 タマキ(故 佐多 政治) 時吉
外川 内直美(故 外川内秀雄) 鹿児島市
島子 マリ子(故 島子 利夫) 求名
上村 純二(故 上村 満子) 久富木
下大迫 イツ子(故 下大迫市雄) 神子
有村 幸嘉(故 有村イ子子) 福岡県
尾付 野秀俊(故 尾付野ミチ子) 中津川
小園 直子(故 山口 勝雄) 船木
酒匂 テル(故 酒匂 學) 湯田
上畝 幸男(故 上畝キリ子) 久富木

匿名希望6件

篤志寄付

7万5百17円 6件

寄付者名《敬称略》

- ・紫尾区大衆浴場(3件)
- ・更生保護女性会
- ・シルバー園芸教室

匿名希望1件

【備品をご利用ください】

(車椅子・レクレーション用具・

高齢者擬似体験セット 等)

さつま町社会福祉協議会では、さつま町内在住の方を対象に、車椅子や、レクレーション用具の貸し出しをしております。レクレーション用具は、無料で貸し出ししておりますが、車椅子は一ヶ月間だけ無料です。お気軽に社会福祉協議会事務局にお問い合わせください。

電話 52-1123

盈進小学校からのエコキャップ寄贈

(平成29年3月1日) ありがとうございました



※集められたキャップは、リサイクルによって貧しい国々の子どもへのワクチン（予防注射）を購入する資金となります。

編集後記

平成29年度がスタートしました。今年は、桜の花がなかなか咲かず、やっと桜の花を見ることができました。

春本番を迎え、これまでの寒さがうそのようです。季節の変わり目で、風邪など体調を崩されてはいませんか。くれぐれもご自愛ください。

広報誌第41号を発行いたしました。発行にご協力くださいました方々に感謝申し上げます。

地域に開かれた社会福祉協議会として、今後も、地域福祉の推進を図って参りますので、ご意見をお聞かせください。

本年度も、町民の皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。